

申11号「ダイ改解明要求」専門協開催！！

6両ワンマン運転の安全性を問う！

「車側モニター」・「知らせる君」活用では不十分だ！！

本部は、7月29日「秋ダイヤ改正に対する解明要求」について専門協を開催しました。

15項目に亘る解明要求に対して会社回答は、根本的に「計画どおり実施したい」に終始しました。

◎ 今回のダイヤ改正の特徴として

①佐世保運輸センターの統合は認められない。

②車掌配置解消(長崎・熊本・鹿児島乗務センター)は認められない。

③ワンマン運転の拡大(3・4・6両)は認められない。

以上3点はJR九州の安全・乗客サービス・収入確保・異常時対応に対応できない事で譲れないと主張してきました。

◇ 会社回答として

(1)社員管理、異常時対応でも何ら問題は無い。80キロ離れた職場移動なので社員とは、コミュニケーションを取って行きたい。

(2)ワンマン運転に対して、設備上や現行ワンマン運転線区で問題は無い。安全は担保出来ている。収入確保は、特改等に対応する。

(3)車側カメラ、知らせる君の活用して、停目間違いに対して注意喚呼(アラーム音、ドア開が出来ないようにロックする)出来るように今、準備している。反復喚呼で対応。

= ワンマン運転拡大に対して私たちの要求として =

①停目間違いについては、停目の統一で対応できる。

②鉄道人身傷害事故防止は、車掌乗務しか無い。

③筑肥線と同様な「ホームドア」が必要。

会社の安全対策は「不十分！ 何かあれば全て運転士の責任！

JR九州の安全と乗客サービス守ろう！ 働く職場を守ろう！